

TOSHIBA

製品カタログ 2006-1

コンパクトIAサーバ

MAGNIA Z330S



オフィスや店舗、公共スペースに。
小さく置いて大きく使える。
静かでコンパクトな本格サーバです。



汎用サーバとしての利用はもちろん、
組込みコントローラやアプライアンスサーバまで
さまざまな用途にご利用いただけます。



MAGNIAシリーズの高性能を継承した省スペース&静かさ。 ビジネスが求める信頼性に応える本格サーバです。

スモールオフィスや部門サーバはもちろん、特定用途向けの組込み用コントローラやアプライアンスサーバとしても幅広く活用できる柔軟性を備えた高性能サーバMAGNIA Z330S。ビジネスが求める機能・性能を凝縮。省スペースを実現するだけでなく、図書館なみの静かさ*を実現するなど、サーバの存在を意識させません。また、サーバに求められる拡張性や信頼性、コストパフォーマンスを高い次元で実現するなど、多彩な用途に対応できる 完成度の高いモジュールデザインも特長です。

*待機時における当社測定値

Compact!

東芝の優れた高密度実装技術が実現する
高性能、省スペースサーバです。

Silence!

オフィスや店舗での使用にも最適。
図書館なみに静かな動作音*を実現しました。

*待機時における当社測定値

Reliability!

RAID、ホットプラグHDD、2ポートLANなど
冗長性を標準装備しています。

Flexibility!

汎用サーバからアプライアンスサーバまで
さまざまな用途にご利用いただけます。

Ecology!

2006年7月から施行されるRoHS指令*にも対応。
地球環境にも配慮しました。

*EU(欧州連合)による電子電気機器に含まれる特定有害物質の使用制限指令

コンパクトボディに大きな可能性を凝縮。 さまざまビジネスシーンで活用できます。



店舗やフランチャイズビジネスに

- ・コンビニエンスストア・ガソリンスタンド
- ・保険代理店・不動産業

置き場所を選ばないコンパクトさと静かさを兼ね備えた本格サーバ。拠点間のコミュニケーションや情報共有を強化でき、ビジネス効率の向上も期待できます。



個人開業、自営業に

- ・歯科医・弁護士・税理士・会計士
- ・小規模オフィス・個人事務所

ビジネスに必要な機能をコンパクトに凝縮。サーバに求められる信頼性に加え、静かな動作音や有害物質の削減など、オフィス環境の改善にも貢献できます。



受付業務やコールセンター業務に

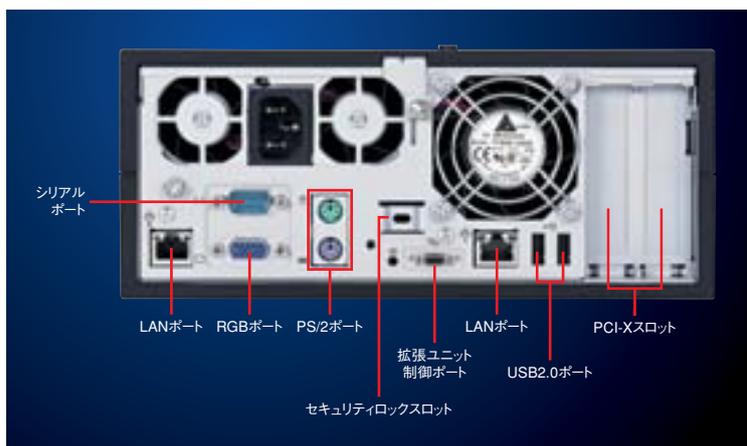
- ・ホテル・コールセンター

省スペース性を活かして受付用端末や装置への組込み用途や、アプライアンスサーバとしても活用できます。

オフィスで使うからこそ、「心地よさ」

東芝MAGNIA Zシリーズが追求した「静音&コンパクト」。そのこだわりを発展させた一つの形がIAサーバ「MAGNIA Z330S」です。オフィスでの利用を前提にした図書館なみに静かな動作音*を実現。小規模オフィスや事務所の情報化を一気に加速させます。

*待機時における当社測定値



も機能と考えたい。

図書館なみの静かさ*を実現

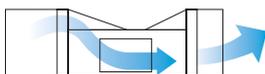
冷却ファンのダイナミックなコントロール

サーバとしての機能や性能を追求する一方で、本体の冷却効率を向上。これにより図書館なみに静かな動作音(40dB)*を実現しています。設置場所を選ばないサーバです。

*待機時における当社測定値

CPUクーラーを効率的に冷却する冷却ダクト

耳障りなファンの動作音の低減と十分な風量確保を両立するため、低速ファンを吸気側と排気側の双方に採用。しかも、ヒートシンク下部にまで効率的に風を届けるように、冷却ダクトを設計しています。また、冷却ファンの回転数をダイナミックに多段階で調節するなど、回転音の変化に気付かせない、つまりファンの音を意識させない工夫も施しました。



前面吸気、後面排気で積み重ねての使用も可能です。



機能性とデザインを両立させたフロントパネル

ホコリをためにくいフロント吸気口

空気が緩やかに流れるようにデザインされた吸気口。ホコリを吸い込みやすく、メンテナンス性にも考慮しました。

セキュリティ機能

サーバ本体や内蔵HDDの盗難やいたずら防止のために、セキュリティロックスロットやフロントパネルのロックキーを装備。

運用管理をサポートするフロントパネルディスプレイ

サーバの稼働状況をフロントパネルから確認できるディスプレイを搭載。CPUやファンなどの万一の障害発生時にも障害状況・箇所を確認でき、迅速で的確な対応が可能です。



I/Oを高密度に実装したリアパネル

豊富なI/Oポート

シリアルポートを含めた各種I/Oポートを装備。優れた拡張性が多彩な用途への活用を可能にします。

2ポートのLANインタフェースを標準装備

1000BASE-Tに対応したLANポートを2つ標準装備。LANを二重化したり、2つのLANポートを使用して送信帯域幅を向上させることが可能です。また、クライアントからサーバの電源ONを可能にするWOL(Wake on LAN)機能にも対応しています。



このアウトラインはMAGNIA Z330Sの実寸です。

静かさと省スペースを両立

マイクロタワータイプとラックタイプの選べる2種類

マイクロタワータイプは233(横)×478.5(奥行)×99(高さ)mmのコンパクトサイズで、縦置き横置きを自由に選択できます。2Uサイズに二台を並列できるラックタイプも用意しています。



拡張性を備えたモジュールデザイン

MAGNIA Z330S本体と統一したデザイン、サイズ(奥行のみ異なる)にバックアップ装置を搭載可能な拡張I/Oユニットを用意*。本体と連動した電源制御も可能です。

*2006年4月リリース予定



多彩な機能をコンパクトに凝縮

インテル® Pentium® 4プロセッサを搭載

CPUにインテル® Pentium® 4プロセッサ3EGHzを採用。800MHzシステムバスと1MBのL2キャッシュによる優れた処理能力を発揮します。

多機能フロントパネル

大型フロントパネルディスプレイや各種LEDインジケータ、USB2.0を前面、背面それぞれ2ポートずつ計4ポート用意。HDDは最大250GBのSATA HDDを2台搭載可能。HDDへのアクセスが前面からできるなど、HDDの増設や障害時の迅速な対応が可能です。



本格サーバにふさわしい信頼性・保守性に加え、環境対応を追求。

オンボードRAIDとホットプラグに対応したSATA HDDを搭載

バックグラウンドでのメディアエラーの自動修復、リビルド時間の短縮などを実現した東芝独自の高信頼RAIDコントローラをオンボードに標準装備。また、HDDは150MB/sの転送速度を実現したSATA HDDを採用。ホットプラグにも対応しており、障害が発生したHDDを迅速に交換できます。

OSから独立したサーバ監視制御機構を採用

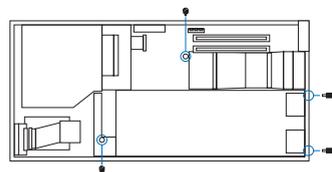
システム稼働中にOSから独立してハードウェアの状態をセンサ監視するBMC (Baseboard Management Controller)を採用。センサ情報は常時監視用コンソールソフトウェア「HarnessEye/web」に収集され、BMCとの連携によるサーバ監視および制御機能を実現しています。

セットアップを効率化

容易なインストールをサポートする「SetupInstructor」を標準装備。サーバOSのセットアップを効率的に行えます。しかも、バンドルソフトウェアや認証サーバ (IAS) などのサービスのインストールも可能です。

ツールレス&セキュアな本体構造

メモリ交換など、筐体内部へのアクセスをツールレスで実現。また、筐体カバーの開閉はフロントパネルのロックキーと連動しており、メンテナンス性とセキュリティを高いレベルで実現させています。



環境対策基準の一つであるRoHS指令*への対応

有害物質による人体や環境への影響を最小限に抑え、現在の社会環境を未来に受け継ぐことにも考慮。RoHS指令*に準拠した製品作りを通して環境への負荷軽減を実現しています。

*EU(欧州連合)による電子電気機器に含まれる特定有害物質の使用制限指令。特定の6物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニール[PBB]、ポリ臭化ジフェニールエーテル[PBDE])は、2006年7月以降EU圏内で製品に使用することが禁止されます。

リリースから2年間の長期供給をお約束

2008年2月まで同一製品の供給をお約束いたします*1。長期にわたるシステム導入にもご安心です。また、ご希望のお客様にはさらに1年間供給を延長し、最大2009年2月*2まで出荷対応いたします。

*1: 本体及び本体内蔵のオプション装置にかぎります。

*2: 個別対応となります。詳しくは弊社営業までお問合せください。



■MAGNIA Z330S仕様

機種名		MAGNIA Z330S					
モデル名		BS (マイクロタワータイプ)	BSR (ラックタイプ)	W3 (マイクロタワータイプ)	W3R (ラックタイプ)	W32 (マイクロタワータイプ)	W32R (ラックタイプ)
CPU	メインプロセッサ	インテル® Pentium®4 3EGHz (FSB 800MHz)					
	プロセッサ数	— (必須選択)					
	標準	1					
	最大	1					
セカンドキャッシュ		1MB/CPU					
チップセット		インテル® 875P					
メインメモリ (ECC付き)	標準	— (必須選択)					
	最大	4GB					
	増設単位	256MB/512MB/1GB/2GB					
補助記憶装置	HDD	標準	— (必須選択)				
		本体内蔵 (最大)	500GB (250GB×2台)				
		内部増設HDD (インタフェース)	80GB/160GB/250GB (SATA/150)				
		内部ディスクベイ	3.5型×2 (ホットプラグ対応)				
	FDD	オプション 外付けUSB 3.5型×1 (720KB/1.44MB)					
RAID対応		SATA RAID 0, 1 (オンボード標準)					
SCSIインタフェース		オプション					
CD/DVD装置		オプション (本体同時購入専用)					
キーボード		オプション					
マウス		オプション					
LANインタフェース		1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T Ethernet×2 オンボード標準 (WOL, AFT, ALB対応)(*)1					
表示機能	ビデオコントローラ	ATI ES1000					
	ビデオRAM	16MB					
	フロントパネルディスプレイ	標準					
I/Oポート	シリアルポート	1チャンネル (RS-232C D-sub 9ピン)					
	マウスポート	1チャンネル (PS/2互換)					
	キーボードポート	1チャンネル (PS/2互換)					
	RGBインタフェース	1チャンネル					
	USBポート (USB2.0)(*)2	4チャンネル (前面2チャンネル、背面2チャンネル)					
	拡張ユニット制御	1チャンネル (専用コネクタ10ピン)					
I/Oスロット	PCI-X (64bit/66MHz)	2 (Low Profile)					
自動シャットダウン機能		標準					
東芝ユーティリティ(*)3		サーバ設定支援ソフト SetupInstructor、サーバ監視ソフト HarnessEye/web					
OSプレインストール/バンドル(*)4		—	Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition (5CAL) プレインストール	Microsoft® Windows Server™ 2003 R2 Standard Edition (5CAL) バンドル			
サーバ監視機能		標準					
電源		AC100V±10% 50/60Hz					
本体消費電力 (最大)		250W					
本体エネルギー消費効率 (W/MOTPS)(J区)(*)5		0.0085 (インテル® Pentium® 4 3EGHz)					
磁気ディスクエネルギー消費効率 (区分)(*)6		0.0781 W/GB [A] (80GB, 7,200rpm), 0.0611 W/GB [B] (160GB, 7,200rpm), 0.0391 W/GB [B] (250GB, 7,200rpm)					
環境条件		温度: 10°C~35°C (*7)、湿度 20%~80%					
本体寸法 (mm)		幅: 233、奥行き: 478.5、高さ: 99 (ラックタイプ) 幅: 219.4、奥行き: 475.9、高さ: 85					
本体質量 (最大)		9.4kg (ラックタイプ 8.6kg)					
対応OS		Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition、Microsoft® Windows Server™ 2003 R2 Standard Edition、Turbolinux 10 Server (*8)、MIRACLE LINUX V4.0 (*8)、Red Hat Enterprise Linux 4 (*8)					

構成に関する条件は、「ハードウェア構成ガイド」(http://www.magnia.toshiba.co.jp/dmsn/laserver/compo_info/index.htm)をご参照ください。

*HDDの容量は、1GBを10億バイトで算出しています。
 (*1) WOL (Wake On LAN): LAN経由でサーバの電源をONにする機能。AFT (Adapter Fault Tolerance): LANの二重化。
 ALB (Adaptive Load Balancing): 複数のLANを使用して送信帯域幅を向上させる機能。
 (*2) USBポートはUSB対応周辺機器全ての動作を保障するものではありません。
 (*3) サーバ運用支援ツールとして「リモートWake On LANツール」が添付されます。
 (*4) 「カスタムインストールサービス」を用意しています。詳しくは商品情報ホームページ (<http://magnia.toshiba.co.jp/>) をご確認ください。
 (*5) 本体エネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。
 (*6) 磁気ディスクエネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネルギー法で定める記憶容量で除したものです。
 (*7) ラックタイプはラックに搭載された装置の吸気温度となります。
 (*8) Linux使用時の動作範囲については、商品情報ホームページ (<http://magnia.toshiba.co.jp/>) をご確認ください。詳細は、営業担当窓口までお問合せください。
 Linuxディストリビューションのパッケージを添付して出荷するサービスがあります。詳しくは「Linuxバンドルサービス構成ガイド」を参照してください。

*Celeron®プロセッサにも対応いたします。詳しくは弊社営業にお問合せください。

環境や省エネルギーへの取り組みなど
 東芝は、環境調和型コンピュータを推進しています。
 環境配慮事項 (具体的内容など)

法律・ガイドライン	
◆グリーン購入法 IAサーバ MAGNIAシリーズは、2001年4月から全面施行された「グリーン購入法」で定められている判断基準を満たしています。また、配慮項目への取り組みも積極的に行っています。 グリーン購入法とは グリーン購入法は国や自治体に対し、グリーン商品の購入、購入努力を義務づけるもので、商品ごとに判断基準・配慮事項を定めています。IAサーバ MAGNIAシリーズは、グリーン購入法の特定調達品目に「電子計算機器」として指定されています。	
判断基準	エネルギー消費効率率が基準値を上回らないこと
配慮項目	<ul style="list-style-type: none"> 製品の長寿命化、部品の再使用、素材再生利用への設計上の工夫 再生プラスチックまたは再生紙用部品への配慮 包装材の再生利用、廃棄時の負荷低減への配慮
環境負荷低減	
◆環境調和型プリント基板の開発と採用 東芝は1998年11月、世界で初めてハロゲン・アンチモンフリー材を使用したプリント基板を開発しました。焼却処理時にダイオキシソ類を発生させるハロゲン・アンチモンを含まないため、廃棄時の有害物質発生を削減します。IAサーバMAGNIA Z330Sのマザーボードではハロゲン・アンチモンフリー化を実現しました。	◆鉛フリーはんだ採用 東芝は、環境にとって有害な鉛を用いない新しいはんだ材料の開発を進める一方で、基板材料・部品の耐熱性や温度変化による伸び縮み、はんだの接合安定性など、さまざまな角度から検討を重ねて当社IAサーバMAGNIAシリーズ全機種での「鉛フリーはんだ」化を目指しています。
紙資源の節約	
◆電子マニュアル(PDF)/再生紙使用 マニュアルを電子化し、紙資源の節約を実現。添付の取扱説明書については再生紙を使用しています。	◆製品パッケージの「発泡スチロールレス化」を実現 本製品では、リサイクル率の高いダンボールを主に利用し、衝撃が吸収できる構造を工夫することで発泡スチロールの使用をなくしました。

●無償保証期間は商品購入後1年間です。出張修理、平日の月曜～金曜、8:30～17:30。但し、祝祭日および年末年始(12/31～1/3)を除く。翌営業日対応。
 ●無償保証についての詳細は商品情報ホームページ (<http://www.magnia.toshiba.co.jp/>) をご覧ください。
 ●本商品の保守対応期間は購入後6年間です。
 ●本製品には有寿命部品 (ハードディスクドライブなど) が含まれています。
 ●本カタログに掲載の商品の価格には、据付調整費、使用済み商品のお引取り費等は含まれていません。

- Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- インテル、Pentium、Celeronは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Linuxは、Linus Torvalds氏の商標です。●MAGNIAは、株式会社東芝の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- MIRACLE LINUXはミラクル・リナックス株式会社の登録商標です。
- "Red Hat" は米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の商標または登録商標です。
- Turbolinuxおよびターボリナックスは、ターボリナックス株式会社の商標または登録商標です。
- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- 本カタログ掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。
- 誤動作や故障により、本商品の記憶内容が変化・消失する場合がございますが、これによる損害、および本製品の使用不能により生じたお客様の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
 大切なデータなどは、必ずお客様責任の下、普段からこまめにバックアップされるようお願いいたします。

PRINTED WITH SOY INK
 この印刷物は「再生紙」と環境にやさしい「植物性大豆油インキ」を使用しています。

詳しい内容は商品情報ホームページをごらん下さい。
<http://www.magnia.toshiba.co.jp/>

安全に関するご注意 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず「取扱・操作に関する説明書」をよくお読みください。

TOSHIBA
株式会社 東芝 PC & ネットワーク社
 サーバ・ネットワーク事業部
 〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1
 TEL: (03) 3457-3019
 Email: pcserver@ieg.toshiba.co.jp

●資料の内容はお断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

東芝は、Microsoft® Windows Server™ 2003を積極的にサポートして参ります。